

## 台風5号接近に伴う水稲管理対策について

平成29年8月4日

JA北越後

気象庁の台風情報によれば、強い台風5号は、8月4日午前8時には日本の南にあって西よりに進んでいます。今後、日本海を北上し8日（火）頃、本県に最接近する見込みとなっています。**日本海を北上した場合、強風やフェーン現象が起こる可能性があるため、今後の台風情報に十分注意してください。**なお、台風通過中の悪天候時は、安全のためほ場等の見回りは絶対に行わないようにしてください。

### 1 台風5号接近により懸念される被害

- 強風・フェーン現象による白穂の発生や葉・茎の損傷
- 穂の損傷や登熟不良による品質低下

### 2 水稲管理対策

#### (1) 事前対策

ア 現在、早生は穂揃い期頃、コシヒカリは出穂が始まっており、最も障害を受けやすい時期となっています。強風により水分ストレスを受けると白穂の発生や、玄米への養分転流が阻害され乳心白粒の発生を助長しますので、**水分不足にならないよう速やかに湛水管理を行ってください。**

イ 輪番制等で取水制限がある地域では、取水可能な日を選び早めに湛水しておきましょう。

※ 地域で限りある水を有効に活用する観点から、用水掛け流しの管理は絶対にやめましょう。

#### (2) 事後対策

ア 出穂前後25日間は湛水管理（田面が露出しない状態）としてください。ただし異常高温時の長期間湛水は根腐れを助長する恐れがあるので、定期的に水を更新してください。

イ 強風やフェーン現象による被害を受けた場合、稲体機能が著しく低下します。アを参考に水管理を徹底し、根の活力維持に努めてください。

ウ フェーン現象に遭遇した籾や、倒伏したほ場からの籾は、胴割粒の発生リスクが高まります。刈り遅れに注意し、丁寧な乾燥・調製に努めましょう。

### 【緊急】加治川水系の農業者皆様へ

加治川沿岸土地改良区連合から連絡がありましたのでお知らせします。

台風5号の接近に伴うフェーン現象が懸念されることから、8月7日～8日に加治川頭首工の輪番制取水を一時解除し用水を流します。フェーン現象による高温・乾燥に備え、湛水管理の徹底をお願いします。